

### 事例～横沢入里山保全地域における対策

東京都あきる野市にある横沢入（よこさわいり）は豊かな里山環境が残り、トウキョウサンショウウオ・ホトケドジョウ・ゲンジボタル・カンアオイ・キンラン・エビネなどの貴重な動植物の宝庫となっています。平成 18 年（2006 年）に、東京都は「横沢入里山保全地域」を指定し、地域住民・ボランティア・地元自治体と協働で保全を進めています。



平成 22 年（2010 年）に横沢入のヤマアカガエルの産卵池で、アライグマに食べられたと考えられるカエルの死体がたくさん発見されました。その後、トウキョウサンショウウオもアライグマに食べられているのが確認されました。東京都ではすぐにアライグマ被害対策を開始し、平成 25 年度までの 4 年間でアライグマを 25 頭、ハクビシンを 5 頭捕獲しました。今後も、市民ボランティアと協働で横沢入の生態系を保全するため対策を継続していく予定です。



横沢入りで撮影されたアライグマ



横沢入りで発見された  
サンショウウオの死体